

第 1 回九十九里町地域公共交通会議の書面決議結果について

1. 日 時 送付日 令和 8 年 4 月 2 1 日

2. 開催形態 書面開催

3. 議 題

- (1) 会長の選任について
- (2) 令和 7 年度 九十九里町地域公共交通会議 事業報告
- (3) 令和 7 年度 九十九里町地域公共交通会議 収支決算
- (4) 令和 8 年度 九十九里町地域公共交通会議 事業計画 (案)
- (5) 令和 8 年度 九十九里町地域公共交通会議 収支予算 (案)

4. 審議結果

【議 題】(1) 会長の選任について

【結 果】 承認 (賛成 20 票 反対 0 票 棄権 0 票)

【議 題】(2) 令和 7 年度 九十九里町地域公共交通会議 事業報告

【結 果】 承認 (賛成 20 票 反対 0 票 棄権 0 票)

【議 題】(3) 令和 7 年度 九十九里町地域公共交通会議 収支決算

【結 果】 承認 (賛成 20 票 反対 0 票 棄権 0 票)

【議 題】(4) 令和 8 年度 九十九里町地域公共交通会議 事業計画 (案)

【結 果】 承認 (賛成 20 票 反対 0 票 棄権 0 票)

【議 題】(5) 令和 8 年度 九十九里町地域公共交通会議 収支予算 (案)

【結 果】 承認 (賛成 20 票 反対 0 票 棄権 0 票)

令和 9 年度（令和 8 年 1 0 月－令和 9 年 9 月）地域幹線系統確保維持事業について

※地域幹線系統確保維持事業の概要について

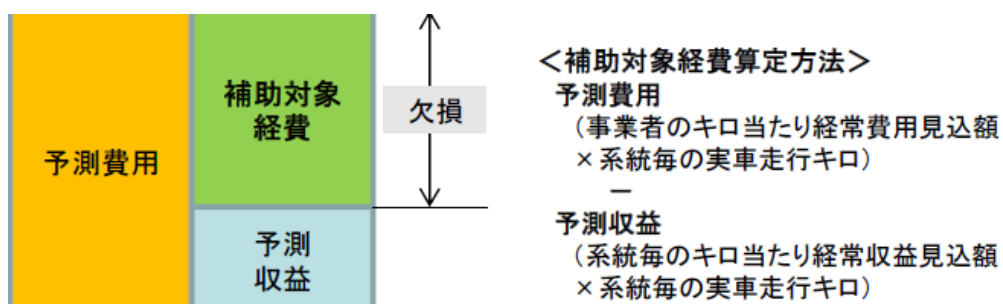
1. 補助制度について

地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、地域間交通ネットワークを形成する地域幹線系統のバスの運行を国・県が補助する制度

2. 国庫補助を受けるにあたり、以下が必須条件

- （１）各市町村の地域公共交通計画を策定し、支援対象バス路線を維持するための取組を位置付けること（資料 2－1）
- （２）毎年度 6 月末までに各市町村の地域公共交通会議等で支援対象バス路線を維持するための取組具体的な取組を協議すること

3. 補助金について



要件

- ・ 複数市町村にまたがる系統であること
- ・ 1 日当たりの計画運行回数が 3 回以上であること
- ・ 輸送量が 1 5 人～1 5 0 人/日と見込まれること
- ・ 経常赤字が見込まれること
- ・ 補助対象経費の額は、平均乗車密度の見込数値が 5 人未満の補助対象系統については、当該運行系統の輸送量を 5 人で除した数値（端数切り捨て）を運行回数とみなした場合の当該運行回数分に相当する額とする

《国の地域公共交通確保維持事業（幹線補助）について》

小湊鐵道の大網サンライズ九十九里線は、鉄道駅（JR 大網駅）に接続するとともに、本町と大網白里市をつなぎ、日常生活における移動を確保するとともに、サンライズ九十九里への観光の移動を確保しています。

九十九里鐵道の片貝循環豊海線は、鉄道駅（JR 東金駅）に接続するとともに、本町と東金市をつなぎ、日常生活における移動を確保するとともに、九十九里浜への観光の移動を確保しています。

いずれの路線も、地域間の幹線として、本町の公共交通ネットワークを構成する上で特に重要な役割を担っています。一方で、事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業（幹線補助）により運行を確保・維持する必要があります。

系統	起点	経由地	終点	運行形態	取組みの主体	補助事業の活用
小湊鐵道 大網サンライズ九十九里線	大網駅	白里海岸	サンライズ九十九里	路線定期運行	小湊鐵道 (運行主体) 九十九里町 大網白里市	幹線補助
九十九里鐵道 片貝循環 豊海線	東金駅西口	家徳・幸田 家徳・サンピア サンピア・幸田	東金駅西口		九十九里鐵道 (運行主体) 九十九里町 東金市	

※支援対象バス路線を維持するために個別施策として、「九十九里町地域公共交通計画」（令和 6 年 2 月）に位置付けている。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域間幹線系統）

9年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に要する国 庫補助額 (千円)	特 例 措 置
九十九里町	小湊鉄道株式会社	(1) 大網サンライズ九十九里線	7,536.0	
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		
		(6)		
		(7)		
合 計			7,536	

(注)

1. 本表に記載する運行予定系統を示した地図(運行予定系統が熊本地震被災市町村における応急仮設住宅の1キロメートル以内を経由することを図示したものを含む)を添付すること。
2. 「特例措置」には、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域間幹線系統に係る特例措置の適用を受ける場合には「1」を、平成29年8月2日改正附則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2-5. ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。
3. 補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは曜日の違いによる運行回数以外に変更がない場合については、その旨を記載することで足りるものとする。(記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略」)

令和9年度(令和8年10月-令和9年9月)地域幹線系統確保維持事業について

令和9年度九十九里町地域公共交通計画別紙（別表）

○事業に係る目的・必要性、目標、効果、取組

No.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
	小湊鉄道株式会社	大網駅・サンライズ九十九里線	大網駅・サンライズ九十九里（白里海岸）	・沿線住民の JR 大網駅や大網市街地のショッピングセンター、医療機関、金融機関等を利用する移動手段 ・大網白里特別支援学校への通学 ・通勤・通学のための大網駅までの交通手段 ・観光客（白里海岸、サンライズ九十九里等）の交通手段	令和8年度と比較して収支率1%以上改善	J Rとの接続時刻を考慮したダイヤの見直しについて関係者で協議する。	令和9年度以降	小湊鉄道株式会社
						コミュニティバスと路線バスの共存のため、両路線間での乗継割引を周知し、この取組みを通じて幹線との相乗効果を図る。	令和8年10月1日～	大網白里市
						通学定期を利用して乗車する学生の定期購入代金を補助することで、利用者の負担を軽減し利用者数の増加を図る。	令和8年10月1日～	大網白里市 九十九里町
						関係市町の広報紙や HP・SNS 等にて利用促進の PR・情報発信を行い、利用者の増加を図る。	令和8年10月以降	九十九里町、小湊鉄道株式会社
						フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図る。	令和8年10月1日～	九十九里町

タクシー助成券の利用状況について

1 タクシー利用助成事業制度の概要

対象者：九十九里町在住で下記の要件のどちらかを満たす者

- (ア) 申請日現在で、75歳以上の者（本人に限る）。
 - (イ) 申請日現在で、65歳以上の者で運転免許証を自主返納した者。
- ※いずれの場合も同居のご家族がいても対象

助成内容：対象者1人につき1枚500円のタクシー利用助成券を、年48枚交付
(年間24,000円)

利用できる区間：九十九里町内全域及び下記一部指定箇所
(トウズ成東店、エービン成東本須賀店、セブンイレブン成東本須賀店)

利用方法：

- (ア) 有限会社片貝タクシーでの利用に限る
- (イ) 年間配布枚数の限りで1回の使用上限なし
- (ウ) 2人以上のグループでも、それぞれ使用可能
- (エ) タクシー利用助成券の譲渡禁止

2 令和7年度タクシー利用助成事業の申請状況について

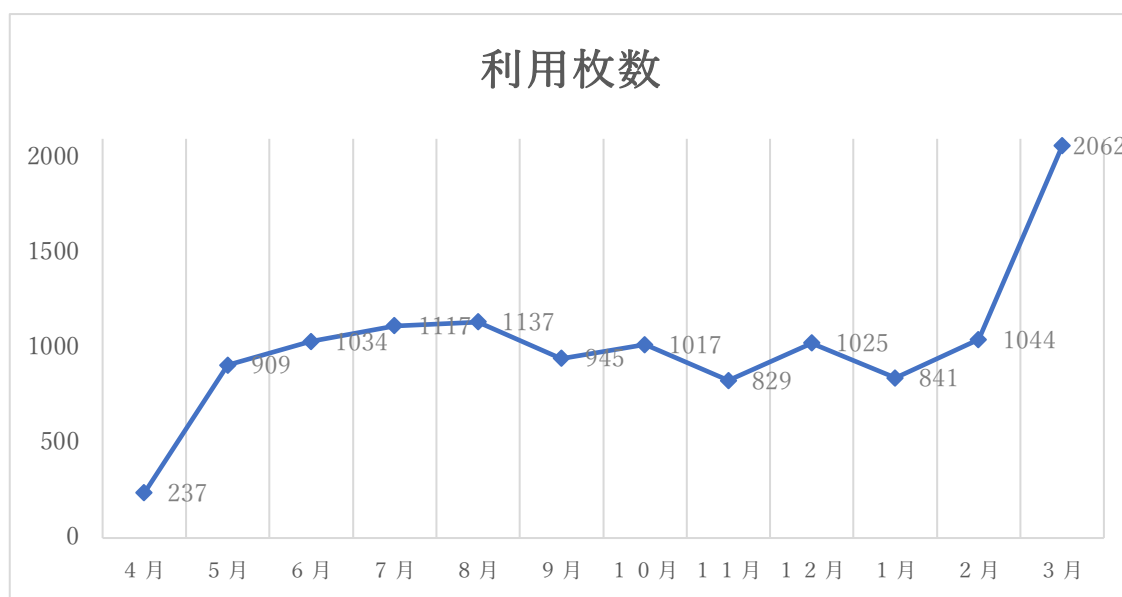
4月	218人
5月	117人
6月	54人
7月	52人
8月	20人
9月	21人
10月	20人
11月	18人
12月	8人
1月	15人
2月	11人
3月	6人

申請者合計 560人（65歳以上免許返納した者7名 75歳以上の者553名）

申請率 553人／3,535人（75歳以上対象者）＝15.6%

3 令和7年度タクシー利用助成事業の利用枚数について

月	利用枚数(枚)	補助実績(円)
4月	237	118,500
5月	909	454,500
6月	1,034	517,000
7月	1,117	558,500
8月	1,137	568,500
9月	945	472,500
10月	1,017	508,500
11月	829	414,500
12月	1,025	512,500
1月	841	420,500
2月	1,044	522,000
3月	2,062	1,031,000
合計	12,197	6,098,500



4 利用率について

利用枚数

(ア) $560人 \times 48枚 = 26,880枚$ 配布

(イ) $12,197枚(実績) \div 26,880枚(配布枚数) = 45.4\%$

利用人数

$370人(実績) \div 560人(申請) = 66.1\%$

公共交通アンケート結果について

対象者 町内在中の75歳以上の男女

アンケート送付範囲

(ア) 令和7年度タクシー助成申請者 537人(3月4日現在)

(イ) 未申請者より 300人

(豊海地区100人 片貝地区100人 作田地区100人)

計 837人

実施時期 令和8年3月

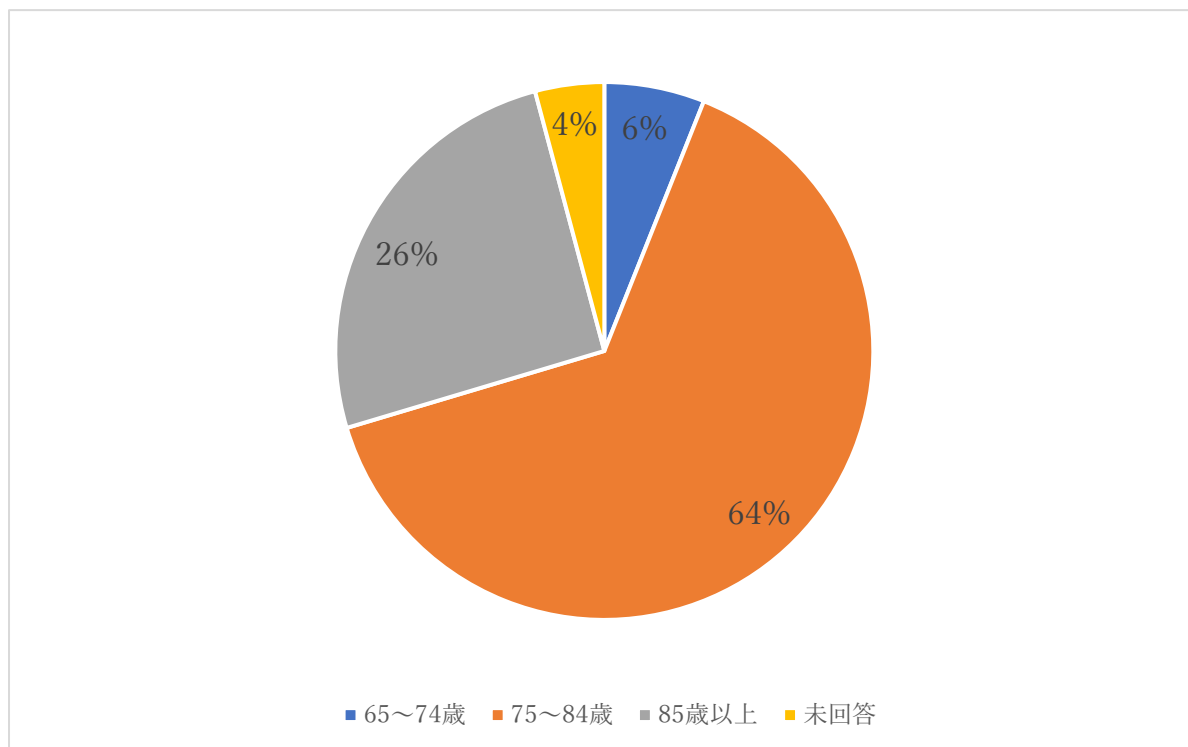
回答数 530人(内 男性199人 女性307人 男女不明24人)

回答率 63.3%

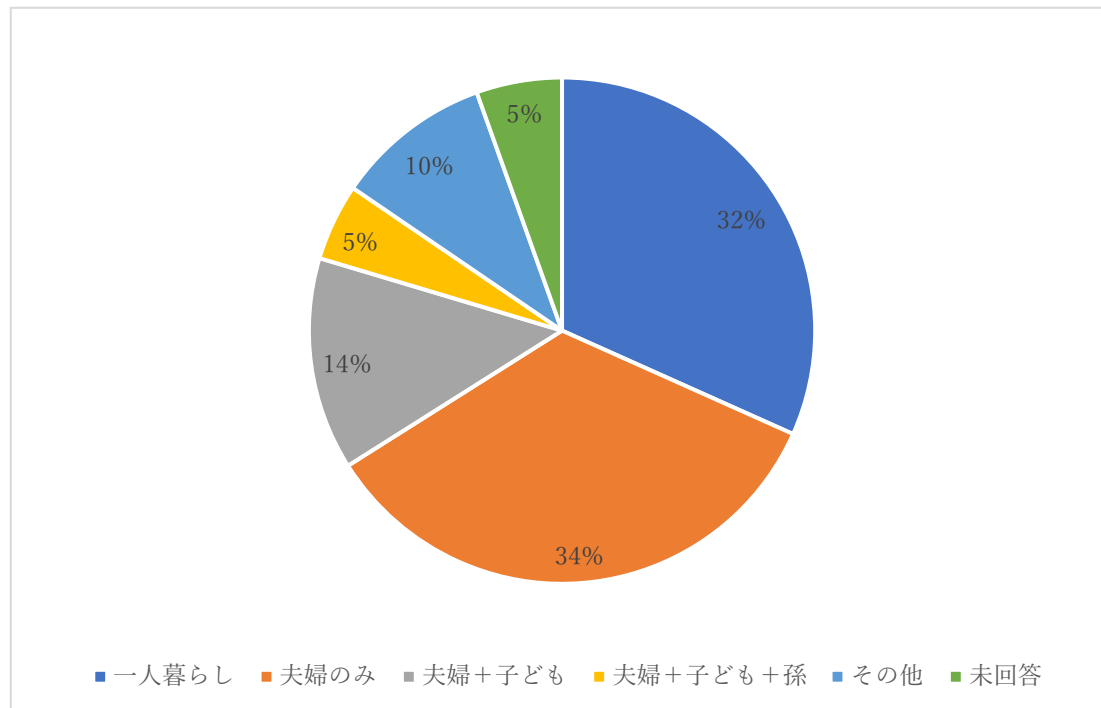
タクシー助成を利用したと回答した人 311人

(全部利用94人 一部利用96人 未使用66人 未回答55人)

回答者の年齢について



回答者の世帯について



自身の運転免許について

持っている	237 人
持っていたが返納した	116 人
持っていない	151 人
未回答	26 人

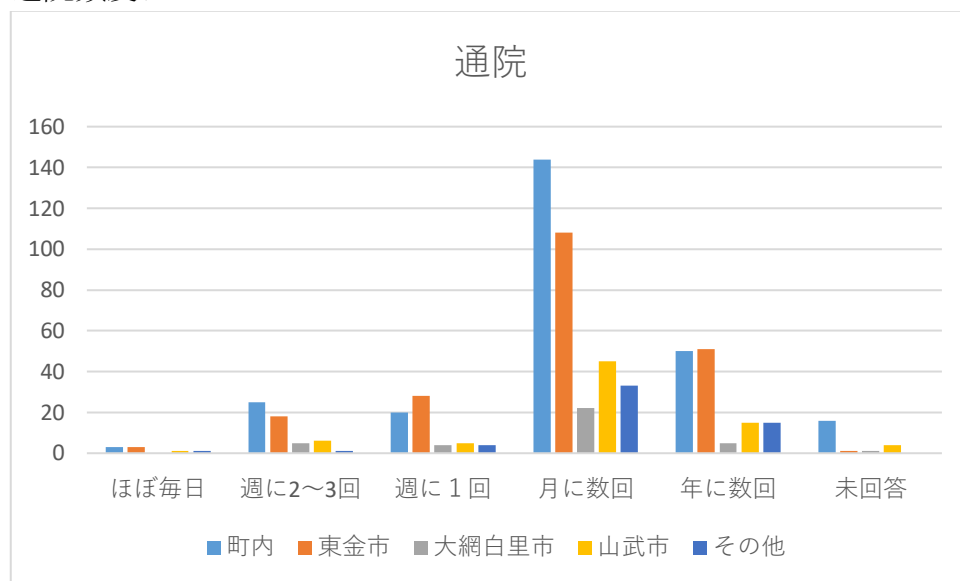
同居家族の運転免許について

持っている	251 人
持っていたが返納した	41 人
持っていない	68 人
同居家族はいない	118 人
未回答	52 人

家族で所有している乗物について（複数回答可）

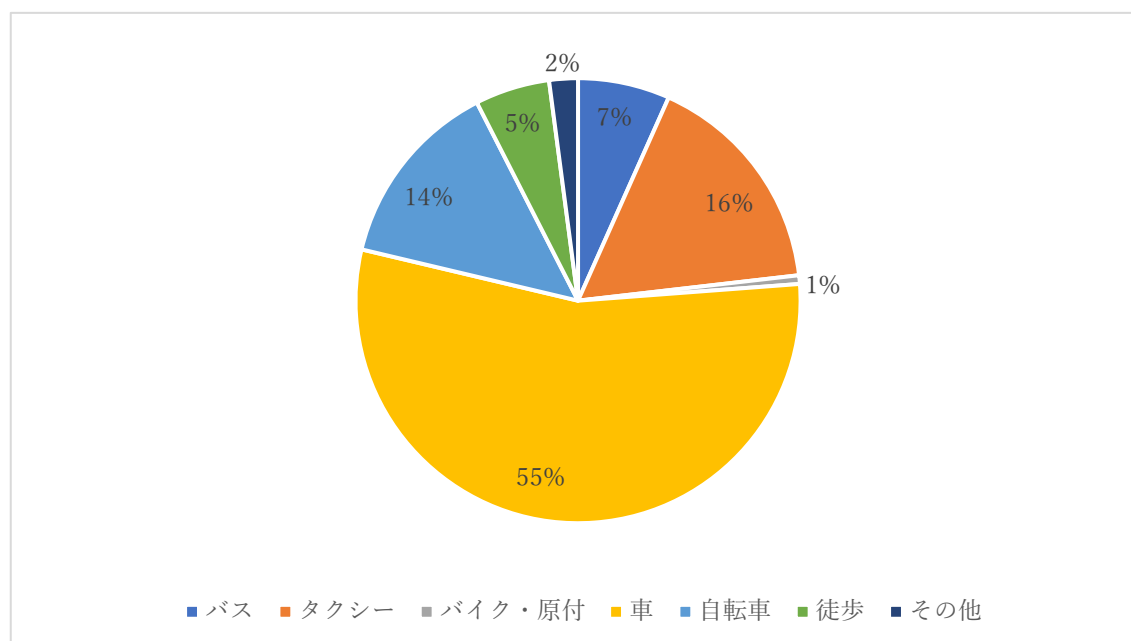
車	318 人
バイク・原付	28 人
自転車・電動アシスト自転車	89 人
どれもなし	88 人
未回答	7 人

通院頻度について



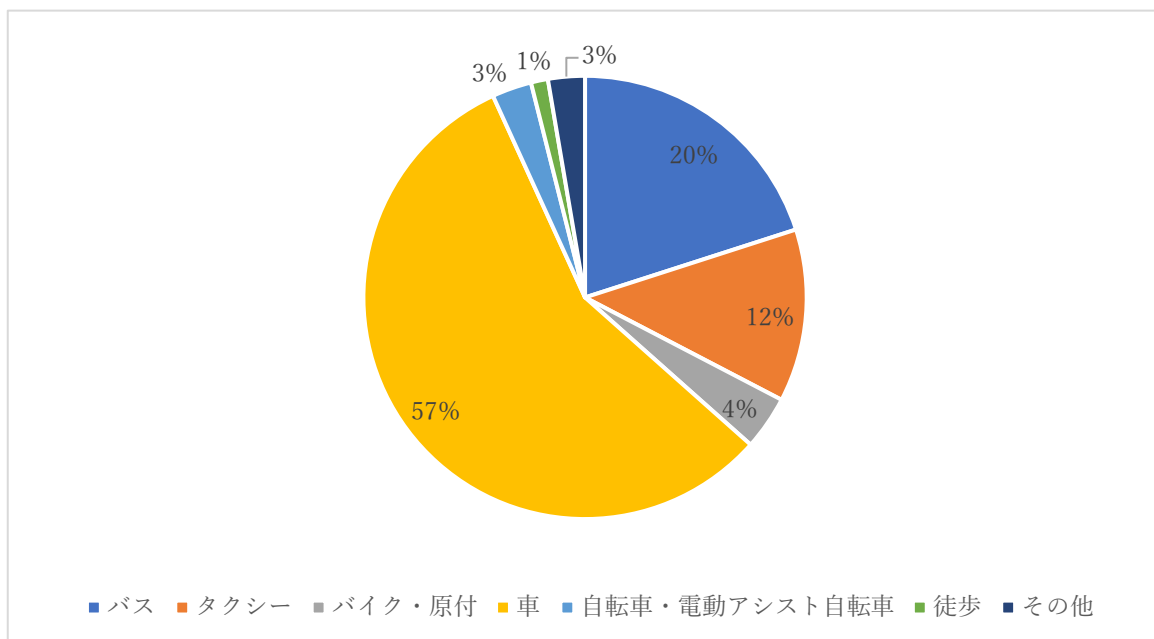
町内での移動手段について

バス	32 人
タクシー	79 人
バイク・原付	3 人
車	263 人
自転車	66 人
徒歩	26 人
その他	10 人



町外への移動手段について

バス	97 人
タクシー	61 人
バイク・原付	19 人
車	274 人
自転車・電動アシスト自転車	14 人
徒歩	6 人
その他	13 人



公共交通において困っていること（複数回答可）

都合のよい時間に合う行きのバス便がない	236 人
都合のよい時間に合う帰りのバス便がない	245 人
タクシー料金が高い	144 人
バス停が遠い	108 人
バス料金が低い	90 人
特に困っていない	82 人
バスと鉄道の乗り継ぎが悪い	77 人
使いたいときにタクシーが予約できない	46 人
タクシーを頼むことに気がねする	62 人
その他	25 人

公共交通でいけるといい場所（複数回答可）

病院	203 人
スーパー	177 人
駅	141 人
役場	140 人
銀行	37 人
職場	3 人
その他	20 人

タクシー助成を申請をしなかった理由（複数回答可）

自家用車による外出の方が便利だから	98 人
制度を知らなかった	71 人
町内のみの運行だったから	38 人
利用方法がよく分からなかったから	22 人
公共交通を必要としないから	20 人
家族や知人が送迎してくれるから	18 人
他の交通手段を利用したから	8 人
健康のため歩くようにしている	8 人
タクシーの予約が面倒だから	6 人
自己負担があるから	3 人
手続方法に問題があるから	2 人
外出の機会がないから	2 人
申請手続きが煩雑だから	1 人
その他	10 人

バス通学定期運賃補助事業の利用状況について

1. バス通学定期運賃補助事業の概要

対象者：下記のア～ウのすべて要件を満たす方

- (ア) 学校教育法に規定する中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（小学部除く）、大学、専門学校および専修学校に在籍している方
- (イ) 九十九里町内に住所を有する方
- (ウ) 通学定期券（1 カ月、3 カ月、6 カ月、学期定期）を購入して町内を運行する路線バスなどで通学する方

助成内容：定期券購入費用の 2 分の 1（1 年あたり 1 2 万円を限度）

補助対象事業者：下記のア～ウのいずれかの事業者

- (ア) 九十九里鐵道(株)
- (イ) 小湊鐵道(株)
- (ウ) 京成バス千葉イースト（株）

制度の経緯

令和 7 年 4 月 バス通学定期運賃補助事業開始

2. 令和7年度バス通学定期運賃補助事業の利用状況について

九十九里鐵道（申請者数33人）

区分	利用人数	補助額
高校	25人	1,697,830円
大学・専門	3人	155,110円
特別支援	1人	51,970円
合計	29人	1,904,910円

小湊鐵道（申請者数7人）

区分	利用人数	補助額
高校	2人	229,970円
大学・専門	4人	380,520円
特別支援	—	—
合計	6人	610,490円

京成バス千葉イースト（申請者数2人）

区分	利用人数	補助額
高校	2人	207,050円
大学・専門	—	—
特別支援	—	—
合計	2人	207,050円

補助額実績

九十九里鐵道 上期 1,258,730円 下期 646,180円 計 1,904,910円

小湊鐵道 上期 205,320円 下期 405,170円 計 610,490円

京成バス千葉イースト 上期 162,090円 下期 44,960円 計 207,050円

合計 上期 1,626,140円 下期 1,096,310円 計 2,722,450円

3. 令和8年度バス通学定期運賃補助事業の申請状況について

	高校	大学・専門	申請者
九十九里鐵道	25人	4人	33人
小湊鐵道	2人	7人	9人
京成バス千葉イースト	2人	1人	3人
合計	29人	12人	45人